

授業科目 高齢期障害作業療法学

【担当教員名】		対象学年	3	対象学科	作業
能 村 友 紀		開講時期	後期	必修・選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【概要・一般目標：G10】 1) 高齢者を取り巻く社会的問題の現状と背景を理解する 2) 高齢者の心身の特性・障害を理解できる 3) 高齢者に対する作業療法のプロセスを理解し、実践に必要な基礎知識・技術を習得する					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. 老化について説明できる 2. 老年期の身体的特徴を説明できる 3. 老年期の心理的特徴を説明できる 4. 老年性疾患、障害を説明できる 5. リスク管理について説明できる 6. 作業療法計画に必要な高齢期障害に関する評価の手段を列挙、説明、実施できる 7. 高齢者に対するリハビリテーション、OTの役割、OTのプロセスを説明できる 8. 具体的ケースに触れ、作業療法のプログラムを立てることができる					
回数	授業計画・学習の主題			SB0番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	老年期の課題と障害像（身体的特徴、精神的特徴）			1～3	講義（能村）
2	老年性疾患・障害、リスク管理			4.5	講義（能村）
3	障害高齢者の評価 1) 身体機能評価 2) 精神心理機能評価			6	講義（能村）
4	障害高齢者の評価演習（1）情報収集、評価			6	演習（能村）
5	障害高齢者の評価演習（2）問題点の抽出			6	演習（能村）
6	障害高齢者の評価演習（3）目標設定			6	演習（能村）
7	障害高齢者の作業療法援助（1）			7	講義（能村）
8	障害高齢者の作業療法援助（2）			7	講義（能村）
9	作業療法の実践 心身機能障害・生活障害と作業療法（1）			7.8	講義（能村）
10	作業療法の実践 心身機能障害・生活障害と作業療法（2）			7.8	講義（能村）
11	作業療法の実践 認知症と作業療法（1）			7.8	講義（能村）
12	作業療法の実践 認知症と作業療法（2）			7.8	講義（能村）
13	作業療法援助演習（1）			7.8	演習（能村）
14	作業療法援助演習（2）			7.8	演習（能村）
15	作業療法援助演習（3）			7.8	講義（能村）
【使用図書】		<書名>		<著者名>	<発行所> <発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		高齢期作業療法学		小川恵子編	医学書院 2004・3,600円
		参考書		老年期の作業療法 浅海奈津美、守口恭子	三輪書店 2003・3,300円
その他の資料		高齢者のための知的機能検査の手引		大塚俊男 他	ワールドプランニング 2001・1,457円
		痴呆性老人のための作業療法の手引き		植田孝一郎 他	ワールドプランニング 2004・2,524円
【評価方法】		【履修上の留意点】			
出席点 レポート 発表 期末試験					